

薄井さん(白河)ら4人最優秀

「私と新聞」親子作文コンクール

家族の絆つづる

応募960点 30日、福島で表彰式

福島民報社が主催した「私と新聞」親子作文コンクールの入賞作品が決まった。最優秀賞には小学生「子の部」が塩野桃花さん(三)と会津若松市・日新小六年(現会津学鳳中一年)の、小学生「親の部」が橋本由香里さん(四)と三春町11、中学生「子の部」が薄井結花さん(三)と白河市・白河中央中一年(現二年)の、中学生「親の部」が都築啓子さん(四)と白河市11の作品が選ばれた。表彰式は三十日、福島市の民報ビルで行われる。



授業で新聞を使うよう明記した新しい学習指導要領の導入に合わせ、家庭で新聞に親しむ環境づくりを進めて

トで作品を募り、今年一月末までに四部門合わせて九百六十点が寄せられた。福島民報社の佐藤晴雄監査役、浜津三千雄取締役、県教育庁東北教育事務所の横山貴英指導主事らが審査した。

小学生「子の部」「親の部」

中学生「子の部」「親の部」



塩野 桃花
さ ん



橋本由香里
さ ん



薄井 結花
さ ん



都築 啓子
さ ん

いづれも、新聞を通じて深まる家族の絆がつづられている。塩野さんは新聞を読むことで生まれる家族

との語らいを表現し、橋本さんは自宅から離れた場所に新聞を取りに行く子どものほほ笑ましい姿を書いた。薄井さんは新聞を読む祖母への憧れを、都築さんは自分が生まれた日の新聞に触れた時の感動をつづった。入賞者の発表は三月の予定だったが、東日本大

震災のため延期した。表彰式では最優秀賞受賞者をたたえる。優秀賞、入選、親子賞、学校賞の受賞者には賞状と副賞、応募者全員に参加賞をそれぞれ送る。

最優秀賞以外の受賞者は次の通り。

- ◇小学生「子の部」▽優秀賞 北郷公大(藤原) 理崎匠朗(矢吹、現矢吹中) 入選 上極ちさと(福大付属) 神田優羽(鶴城) 栗田真希(城西) 佐々木慶太(謹教) 冲野峻也(福大付属) 菊地由舞(飯豊) 佐藤善之(城西)
- ◇小学生「親の部」▽優秀賞 理崎惠美子(矢吹) 小林智子(会津坂下) 入選 神田純子、佐藤美奈子(会津若松) 長瀬政憲(いわき) 太田浩子、遠藤知美(相馬)
- ◇中学生「子の部」▽優秀賞 沼沼美穂(石神、現日立市大久保中) 芳賀美涼(若松五、現会津高) 入選 佐藤綺香(西信) 藤井温子(浮金) 白鳥麻奈(白河中央) 高畑ゆこ(北塩原一) 渡部琴美(湊)
- ◇中学生「親の部」▽優秀賞 斎藤雅子(喜多方) 高畑かおり(北塩原) 入選 上野ゆみ子、古関智恵子、二瓶真由美、松野桂子(福島) 松下喜子(郡山)
- ◇親子賞 小学 理崎惠美子・匠朗(矢吹) 中学 高畑かおり・ゆこ(北塩原)
- ◇学校賞 小学 好間四、金房、飯豊、長瀬、葛尾 中学 西信、湊、白河二、白河中央、飯館